



グループの進行役を務める

自立に向けて



はじめに — 所要時間：5分以内

本ワークブックの活用法

各指示に関する説明				
読む	視聴する	話し合う	深く考える	活動
グループ内の一人 が声に出して読む	グループでビデオ を視聴する	2 - 4 分間, グループで考えを 分かち合う	個人で深く考え 静かに書き留める	所定の時間, グループの参加者 は個人または数人 で活動する

祈り: だれかに祈りをささげるよう依頼する

時間: セクションごとにタイマーで時間を計ってもらうようだれかに依頼する

紹介: 各参加者は 30 秒以内で、名前と各自について何か一つを紹介する

読む: ようこそ！この冊子は皆さんに自立グループを紹介する目的で作られています。会員が実践的なスキルを学び、霊的な習慣を強めるのに役立つ、教会の新たな取り組みです。今日の訓練では、あなたが進行役を務める自立グループ集会在どのようなものかを見て、感じていただきます。これから 2 時間かけて、以下のテーマを採り上げます。

- 自立グループとは
- 進行役としての役割
- 自立グループ集会の構成
- 自立グループに参加する方法
- 進行役の管理責任

発行：末日聖徒イエス・キリスト教会
ユタ州ソルトレーク・シティ

©2017 Intellectual Reserve, Inc.
All rights reserved.

英語版承認：2017 年 8 月

日本語版承認：2017 年 8 月

原題：Facilitating Groups for Self-Reliance
Japanese
14063 300



学ぶ — 所要時間：85 分以内

自立グループとは（所要時間 — 10 分）

視聴する：「わたしは聖徒たちに必要なものを与える」 idschurch.jp/srs — 「グループの進行役を務める」の「ビデオリソース」から入手可能

話し合う： イエス・キリストを信じるわたしの信仰は、わたしの霊的・物質的な自立にどのような影響を与えるだろうか。

読む： 自立グループの目的は、人々が自分の生活を変えるのを助けることです。M・ラッセル・バラード長老はこう教えています。「評議会は、ほんとうに価値ある結果を得るのに最も効果的な方法だとわたしは信じます。それに加えて、評議会は主の方法であり、聖文に記されているとおり、主は天の評議会を通して宇宙の万物を創造されました。」（「家族評議会」『リアホナ』2016年5月号、63）

評議会のような環境の中でともに取り組むことで、グループの参加者は一人で取り組むときよりもさらなる才能、靈感、経験、知識を得ることができます。自立グループには以下のような特徴があります。

- 共通の関心あるテーマに取り組む 8 – 12 人の参加者から成る（テーマの例：財政管理、より良い仕事を見つける、さらなる教育を受ける、ビジネスを始める、など）
- すべての人が居心地良く、平等に参加できる安全な環境
- 週一回、12 週間にわたって集まり、新しいスキルや習慣を身につける
- 参加者が学び合い、励まし合えるよう評議会の方式に倣う
- グループで学んでいることを毎週実践する決意をする
- 決意を守ることにに関して参加者が互いに責任を持てるよう、進捗状況を報告する

話し合う： 自立グループは、あなたがこれまで参加してきたワークショップやクラスとどのような点で異なっていますか。

進行役としての役割 (所要時間 — 15 分)

視聴する: 「進行役を務めるには」 ldschurch.jp/srs — 「グループの進行役を務める」の「ビデオリソース」から入手可能

話し合う: ビデオに登場する進行役は、教師から進行役へと変わるためにどのようなことを変える必要があったのでしょうか。その変化は、グループにどのような影響をもたらしていましたか。

読む: 主は教会の評議会、集会についてこう言われました。「全員が同時に語ることなく、一時に一人を語らせて、すべての者が彼の言うことに耳を傾けるようにしなさい。それは、すべての者が語って、すべての者が互いに教化し合うように、またすべての人が等しい特権を持つようにするためである。」(教義と聖約 88 : 122, 強調付加)

自立グループにおいて、教えるために召された人はいません。進行役であるあなたの務めは、グループの参加者が資料に沿い、参加できるように助け、話し合いに御霊を招くことです。そのテーマに関する専門家となるために召されたわけではありません。代わりに、グループの一員として参加し、ともに決意を守り、学ぶべきです。以下の原則(太字部分)は、グループにおける経験を実りあるものとするうえで役立つでしょう。

安心できる環境を作る — 毎週、参加者は決意を貫くことに関する進捗状況をグループに向けて率直に報告します。さらなる自立に向けて歩む中で、間違いを犯したり、失敗を経験したりします。それはいたって普通で、健全なことです。参加者が挑戦し、失敗し、ゆくゆくは成功を経験する中で、安心できる環境があると感じることは不可欠です。

話し合う: 参加者が安心して、居心地良く参加し、グループに受け入れられていると感じるのを助けるにはどのような方法があるでしょうか。

読む: **参加を促す**一進行役として、グループのほかの参加者よりも多く話すべきではありません。輪の中に溶け込み、全員が発言できるように助けるべきです。

活動

ステップ 1: 3人1組となり、以下の進行役の行動を読みます。

ステップ 2: 各自、それぞれの欄から一つの行動を選び、それがどのようにして参加を助けたり、妨げたりすることになるかを話し合います。

参加と一致を促す行動	参加を妨げ、一致を失わせる行動
<ul style="list-style-type: none">○ グループに再度質問を投げかける○ 周囲に敬意を払いながら話す○ 全員の名前を覚える○ 笑顔で友好的な態度を取る○ 集会の開始および終了時間を守る○ 冊子を信頼し、それに従って進める	<ul style="list-style-type: none">○ 人を傷つける批判的な意見○ すべての質問について意見を述べ、最後に必ず一言付け加える○ 集会の終了予定時刻を過ぎる○ 話し過ぎたり、教師のような態度を取ったりする

話し合う: 会話を独占する人、あるいは意見を述べない人に対し、どのように対処すればよいでしょうか。

読む： **開始および終了時間を守る** —グループの参加者が、グループ集会在予定通りに始まり、終わることを信頼できるようにする必要があります。各セクションと活動には、推奨されている所要時間があります。毎週、グループの一人にタイムキーパーを依頼するとよいでしょう。

話し合う： グループ集会在時間通りに進行するのを助けるために、そのほか何ができるでしょうか。

読む： **話題に関連のある、建設的な意見を述べる** —グループの参加者に知られていない人物についてであれ、人を批判する発言を決してしてはなりません。

話し合う： グループで述べられる意見がテーマに沿った、周囲を尊重するものとなるよう、どのように勧めればよいでしょうか。

自立グループ集会の構成 (所要時間 — 40 分)

視聴する： 「行って、おこなう」 idschurch.jp/srs —「グループの進行役を務める」の「ビデオリソース」から入手可能

読む： 各グループ集会是5つのセクションで構成されています。どのセクションも省略すべきではありません。



報告する： このセクションでは、グループの参加者が自分の努力を評価し、グループの人々に進捗状況を報告します。新しいスキルや習慣を実践して学んだことを分かち合います。進捗を評価することは、新しい習慣を身につけるうえで欠かせないものです。(所要時間 — 20 – 30 分)

話し合う： グループに向けて率直に進捗を報告することは、どのような助けとなるでしょうか。



『わたしの礎』： このセクションにおいて、会員は信仰、教育、勤勉、主への信頼といった原則を学び、実践します。参加者は毎週、さらに自立するうえで役立つ基本的な原則を復習します。(所要時間 — 20 分)

話し合う： グループにおいて、教義と実践的なスキルの双方を学ぶのはなぜでしょうか。



学ぶ: このセクションでは、グループの参加者が物質的に自立するのに役立つ新しい概念やスキルについて読み、話し合い、練習します。(所要時間— 40 – 50 分)



深く考える: このセクションでは、グループの参加者がグループ集会において学んだことについて深く考え、書き留めます。主の導きを求め、改善する方法を考えます。このセクションは省略しないでください。(所要時間— 5 – 10 分)

話し合う: 深く考える(心の中で、話すことなく)ことで、聖霊がわたしたちに教えられる機会がどのようにしてもたらされるでしょうか。



決意する: このセクションでは、参加者がグループ集会で学び、話し合った新しいスキルや習慣を実践する決意をします。決意をし、貫くことは新しい習慣を身につける過程で欠かせないものです。助けの一つとして、参加者はグループ内のだれかを選び、**アクションパートナー**になってもらいます。アクションパートナーは一週間の間、連絡を取り合い、互いを励まし、サポートします。参加者は、学んだことを家族や友人に教える決意もします。(所要時間— 5 – 10 分)

話し合う: 互いのアクションパートナーとなることは、なぜ重要なのでしょうか。



行動する: 参加者は生活を変えるために、一週間の間、決意を実行するよう努めます。学んだことを実行し、人に教えることは、自立に向けたスキルや習慣を身につけるうえで助けとなります。(所要時間— 毎週 3 – 8 時間)

話し合う: 週の間、良い習慣を身につけられるよう、グループの参加者をどのように助けられるでしょうか。

読む: 集会の構成が分かったところで、これから集会の実際のセクションの一つと一緒に練習してみましょう。

活動

ステップ 1:『わたしの礎』セクションを進行してもらう人をグループから選びます。進行役はグループに原則を教えることなく、資料に書かれた内容に従い、全員に参加を促します。

ステップ 2:12 ページを開き、『わたしの礎』の原則、「自立は救いの原則である」を始めます。

ステップ 3:『わたしの礎』セクションを終えたら、以下の質問を活用して進行役にフィードバックを伝えます。

- 進行役は台本にどれほど忠実に進めたでしょうか
- 進行役は、どのようにしてグループ全員の参加を促したでしょうか
- グループの参加者は、聖霊の影響を感じたでしょうか

自立グループに参加する方法 (所要時間 — 10 分)

視聴する: 「自立グループを選ぶ」 idschurch.jp/srs — 「グループの進行役を務める」の「ビデオリソース」から入手可能

読む: グループに参加するには 3 つのステップがあります。

1 つ目に、ワード評議会は自立ワークショップに参加するよう会員たちに勧めます。

2 つ目に、ワークショップに出席する会員は以下を行います。

- 自立の基本的な教義や原則を学ぶ
- 現在の自分の霊的・物質的な必要について評価する
- 自分のスキルを磨くためのグループを選ぶ
- グループ集会の日時と場所を選ぶ

3 つ目に、通常、会員はワークショップの一週間後、選んだグループの集会に出席し始めます。

進行役の管理責任 (所要時間 — 10 分)

グループ登録

読む: グループを登録し、最後にグループの報告書を書くことは重要です。この過程により、グループの参加者のための修了証書を申請したり、追加の訓練資料を手に入れたり、教会の自立イニシアチブを改善するのに貢献することができます。以下の指示事項を確認してください。

- 最初のグループ集会の前に、srs.lds.org/reportから「グループ登録用紙」をダウンロードする。最初のグループ集会で用紙を記入し、記入を終えたら srs.lds.org/reportにアクセスして情報を入力する。
- 毎週ステーク自立支援スペシャリストに連絡し、集会の参加者について、またグループ内で報告された成功談について報告する。
- 最後のグループ集会の前に、srs.lds.org/reportから「グループの最終報告および修了証書の申請用紙」をダウンロードする。最後のグループ集会で用紙を記入し、記入を終えたら srs.lds.org/reportにアクセスして情報を入力する。

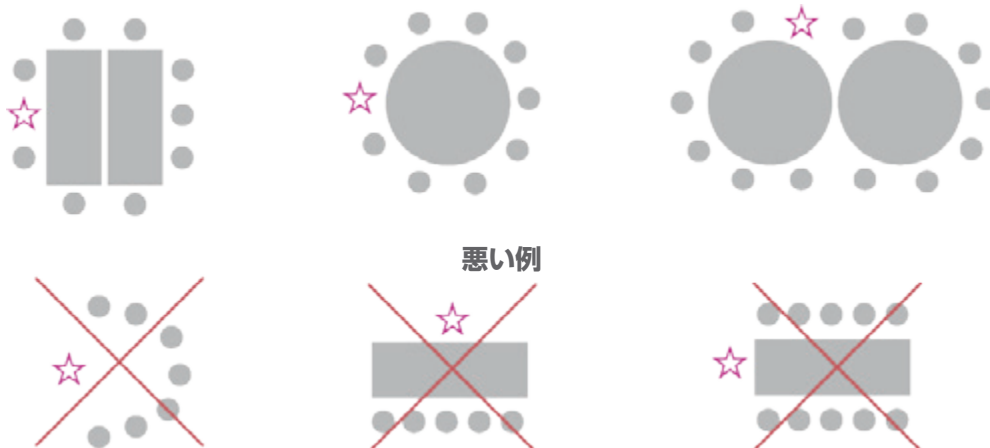
毎週 部屋とビデオの準備をする

読む: ステーク自立支援スペシャリストは、グループのために教会の集会所の部屋を予約します。毎週、少し早めに到着し、テーブルと椅子を準備しましょう。またオーディオ機器を設置し、映像と音声が発動することを確認します。

活動

ステップ 1:以下の部屋の配置図に目を通します。

ステップ 2:グループの学習過程において、なぜ座席の配置が重要なのかを話し合います。



注一 上記画像の星印は進行役を示している

「より良い仕事を見つける」グループの進行

「より良い仕事を見つける」グループの進行役を務める場合、二つのことに注意する必要があります。

1つ目は、自立ワークショップでグループを作るとき、毎回のグループ集会時に自分が興味を持っている求人票を持って来るようグループの参加者に勧めることです。

2つ目は、集会の開き方の選択肢が柔軟になっているという点です。付録の16 - 17ページを確認してください。自立ワークショップにおいて、「より良い仕事を見つける」のグループを選んだ人々に集会の選択肢を伝えます。

まとめ

読む: 進行役として奉仕する間、度々このリストを参照してください。

グループの集会前

- グループの参加者に、日時と場所について確認の電話やメールをする
- 進行役として備えるために資料に目を通す（ただし、レッスンとして教える準備はしない）
- ステーク自立支援スペシャリストに依頼し、グループに申し込んだ人数に加えて2冊多く冊子を用意してもらう
- 早めに到着し、椅子やテーブル、ビデオを適切に設置しておく
- 忘れた人のために筆記用具を準備しておく

グループの集会中

- グループの参加者を温かく歓迎し、彼らと知り合う
- 参加者の達成したことや進歩を認め、褒める
- タイムキーパーを割り当て、推奨されている所要時間を管理してもらう
- グループの参加者による話し合いを促す
- 各集会間、決意を実行することの大切さを強調する
- 内密情報を守ることにについてグループの参加者に再確認する

グループの集会后

- 最初と最後のグループ集会后、srs.lds.org/reportにアクセスし、登録や報告、修了証書の申請を行う
- 一週間の間、互いに連絡を取り、助け合うよう、アクションパートナーに勧める
- 毎週ステーク自立支援スペシャリストに連絡し、集会の参加者について、また集会の様子について報告する
- 次のグループ集会で扱う資料を祈りの気持ちで確認する
- 霊的に備え、受けた促しに従って行動する



『わたしの礎 — 自立は救いの原則である』— 所要時間：25 分以内

深く考える：ヨハネ 10：10（右欄参照）

話し合う：豊かな人生とは何でしょうか。

視聴する：「わたしのつま先を磨いたのです」(ldschurch.jp/srs) 動画を視聴することができない場合は、13 ページを読んでください。

話し合う：あなたの問題には解決策があると思いますか。わたしたちを助けてくださる主の力を受けるにふさわしくなるには、どうすればよいでしょうか。

読む：『手引き 第2部』の引用およびダリン・H・オークス長老の言葉（右欄参照）— 自立するということは、望むままに行い、欲しいものを何でも手に入れられるということではありません。そうではなく、イエス・キリストの恵み、すなわち人に能力を授ける力や、自分自身の努力により、人生において、物質的・霊的に必要なすべてのものを自分や家族のために得られると信じることなのです。自立は、人生において山を動かし、試練や苦しみに打ち勝つ強さをもたらす神の力に対するわたしたちの信頼や信仰の証です。

話し合う：キリストの恵みは、生活において霊的・物質的に必要なものを得るうえで、どのような助けとなってきたでしょうか。

活動

ステップ 1: パートナーを選び、以下の各原則を読みます。

ステップ 2: これらの真理を信じることで、さらに自立するうえで助けとなる理由について話し合います。

自立の教義的原則	
1. 自立は戒めである	「教会とその会員は、自立し、独立するように主から命じられています。」（『歴代大管長の教え — スペンサー・W・キンボール』 116）
2. 神は、御自分の義にかなった子供たちが自立するための道を備えておられる	「万物はわたしのものであるから、わたしが意図しているのは、聖徒たちに必要なものを与えることである。」（教義と聖約 104：15）
3. 物質的なことと霊的なことは神にとって一つのものである	「まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしにとってはすべてが霊にかかわるものである。」（教義と聖約 29：34）

「わたしがきたのは、羊に命を得させ、豊かに得させるためである。」

ヨハネ 10：10

「自立とは、自分自身と家族の生活における霊的・物質的な必要を満たす能力であり、決意であり、努力である。会員が自立するとき、さらによく人々に奉仕し、助けを与えることができる。」

『手引き 第2部 — 教会の管理運営』 6.1.1

「自分ですべき決断や、自分で手に入れるべきものまで、人に依存するようには勧められるものは何であれ、霊性を弱め、福音の計画が意図する成長を遅らせているのです。」

ダリン・H・オークス「悔い改め、変わる」『リアホナ』 2003年11月号, 40

話し合う: マリオン・G・ロムニー管長の言葉(右欄参照)を読んでください。自分が自立に向かっているかどうか、どのようにして分かるでしょうか。

決意する: 今週以下のことを行うと決意してください。各項目を達成できたら、チェックを入れます。

自立について今日学んだことを家族や友人と分かち合う。

8 ページに戻る

「わたしのつま先を磨いたのです」

動画を視聴することができない場合は、この台本を読んでください。



エンリケ・R・ファラベラ長老:

子供のころ、あまり裕福ではありませんでした。ある日、父の所へ行って言いました。「父さん、新しい靴が必要なんだ。これはもうボロボロだよ。」父がわたしの靴に目をやると、確かにボロボロでした。父は言いました。「これくらいなら、直せると思うよ。」黒い靴墨を少し取って磨くと、靴は綺麗になりました。父は言いました。「さあ、直ったよ。」わたしは答えました。「ううん、まだだよ。靴からまだ、つま先が見えるよ。」父は言いました。「これも直せるね。」父はもう少し靴墨を取ると、わたしのつま先を磨いたのです!

わたしはその日、すべての問題には解決策があると学びました。この自立の原則が、主の業を速める方法であると確信したのです。これは、救いの業の一部です。わたしたちは皆、より良い者となることができます。無関心であることをやめましょう。多くの場合、自己満足してしまうと、進歩が妨げられます。日々進歩することができます。何か違うことを行うと決めて、過去にうまくいかなかったことを改善するのです。信仰をもって行い、キリストが助けてくださるという信仰と希望を働かせるなら、物質的にも霊的にも進歩する方法を見いだすでしょう。神は生きておられ、皆さんはその息子、娘だからです。

12 ページに戻る

「自立していなければ、わたしたちが持って生まれた奉仕への願いを実行することはできません。何も持っていなければ、どうして与えることができるでしょうか。食糧棚が空では飢えた人に食物を施すことはできません。財布が空ではお金に困っている人を援助することはできません。心が飢え渴いていては、人を理解し支えることはできません。学んでいなければ、教えることはできません。そして何よりも大切なことは、霊的に弱くは、霊的な導きを与えることはできないということです。」

マリオン・G・ロムニー
「日の栄えに至る自立の本質」『聖徒の道』1983年
1月号, 169



深く考える — 所要時間：5分以内

今日学んだこと、主があなたに行うよう望んでおられる事柄について深く考えます。以下の聖句または引用文を読み、質問に対する答えを書きましょう。

「これが教会の評議会がもたらす奇跡、すなわち互いの意見が聞かれ、御霊の声が聞けるのです。もし教会の評議会が相互に助け合うなら、神が普通の人をどのように非凡な指導者に育てられるのかを理解できるようになるでしょう。」(M・ラッセル・バラード「評議会に助言を求める」『聖徒の道』1994年7月号, 29)

今日学んだことの中で最も意義深いものは何だろうか

今日学んだ結果として、わたしは何を行うだろうか



決意する — 所要時間：5分以内

毎週、わたしたちは決意をします。翌週の集会は、決意に関して報告することから始めます。アクションパートナーに向けて各決意を読み上げます。決意を貫くことを約束し、以下に署名してください。

活動

ステップ 1: グループからアクションパートナーを選び、互いに決意を読み上げます。

ステップ 2: 決意を貫くことを互いに約束し、以下に署名してください。

- わたしは以下のビデオを視聴します (ldschurch.jp/srs—「自立グループの進行役を務める」欄で入手可能)
 - 進行するには—「報告する」
 - 進行するには—『わたしの礎』
 - 進行するには—「学ぶ」
 - 進行するには—「深く考える」
 - 進行するには—「決意する」
 - 集会を管理するには
- 最初の集会后、グループを登録し、前回のグループ集会の報告書を書きます (srs.lds.org/reportにアクセス)
- わたしは『わたしの礎』の原則を実践し、それを家族や友人に教えます
- 毎週、「進行役の自己評価」(18 ページ) を活用し、自分の進捗状況を評価します
- 「深く考える」欄に今日書き出した行動の変化を起こし始めます

わたしの署名

アクションパートナーの署名

注 — ステーク自立支援委員会の一員がこれらの決意についてあなたにフォローアップします。

閉会の祈りをします。

付録

より良い仕事を見つける — 集会の選択肢

一度決定すると12週間にわたってそのスケジュールに従うこととなりますが、集会には柔軟性があります。多くのグループは、最初の2週間で『より良い仕事を見つける』の全10章を終わらせ、学んだスキルを練習して直ちに求職活動で実践できるようにする選択肢を選びます。

『より良い仕事を見つける』のすべての章を終えてからも、12週間が終わるまでは少なくとも週に一度、集会を持ちます。集会の時間は1時間程度です。「スキルを磨く」セクションを活用して、自分の決意について報告し、『わたしの礎』セクションから学び、スキルを実践し、その週の決意を決めます。

ほかのグループで効果のあったスケジュールの提案を幾つか挙げます。以下の選択肢に従っても、皆さんで考えたスケジュールに従っても結構です。スケジュールの見本は17ページにあります。

- 選択肢 1:** 最初の集会で、8 – 9 時間かけてすべての章を終わらせる。残りの11週間は、毎週1時間ほどの集会を持つ。
- 選択肢 2:** 最初の2週間に4 – 5 時間の集会を2回持ち、すべての章を終わらせる。残りの10週間は、毎週1時間ほどの集会を持つ。
- 選択肢 3:** 最初の2週間に2 – 3 時間の集会を4回持ち、すべての章を終わらせる。残りの10週間は、毎週1時間ほどの集会を持つ。
- 選択肢 4:** 毎週2時間の集会を持ち、週に1章ずつ行う。すべての章を終わらせるのに10週間かかる。残りの2週間は、毎週1時間ほどの集会を持つ。

スケジュール表

選択肢 1

集会 1 (8 - 9 時間)	集会 2 - 12 (1 - 1.5 時間)
『わたしの礎』 1 - 10 章 決意する	報告する 『わたしの礎』 スキルを磨く 決意する

選択肢 2

集会 1 (4 - 5 時間)	集会 2 (4 - 5 時間)	集会 3 - 12 (1 - 1.5 時間)
『わたしの礎』 1 - 5 章 決意する	報告する 『わたしの礎』 6 - 10 章 決意する	報告する 『わたしの礎』 スキルを磨く 決意する

選択肢 3

集会 1 (3 時間)	集会 2 (2 - 3 時間)	集会 3 (3 時間)	集会 4 (2 時間)	集会 5 - 14 (1 - 1.5 時間)
『わたしの礎』 1 - 3 章 決意する	4 - 6 章	報告する 『わたしの礎』 7 - 8 章 決意する	9 - 10 章	報告する 『わたしの礎』 スキルを磨く 決意する

選択肢 4

集会 1 (2 時間)	集会 2 - 10 (2 時間)	集会 11 - 12 (1 - 1.5 時間)
『わたしの礎』 1 章 決意する	報告する 『わたしの礎』 2 - 10 章 (毎週 1 時間ずつ) 決意する	報告する 『わたしの礎』 スキルを磨く 決意する

進行役の自己評価

各グループ集会の後、以下を確認しましょう。あなたは進行役として、どのような働きをしているのでしょうか。

進行役としてのわたし	まったく しない	時々	しばしば	いつも
1. 週の間、グループの参加者に連絡をする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. グループの各参加者に対して、喜びや愛を伝えている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. グループの参加者全員が、各自の決意を報告できるよう助けている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. グループの参加者以上に発言しない ——全員が等しく参加している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 質問に対して、自分ではなくグループの参加者が答えている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 各セクションと活動の推奨時間を守っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 聖霊がグループの参加者を導くことができるよう、「深く考える」セクションの時間を確保している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. ワークブックの記載どおりに従い、すべてのセクションと活動を完了している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
グループの参加者	まったく しない	時々	しばしば	いつも
1. グループの参加者は、愛し合い、励まし合い、仕え合っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. グループの参加者は、決意を貫いている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. グループの参加者は、物質的・霊的な面で成果を得ている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. アクションパートナーは毎週、互いに連絡を取り、励まし合っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

備考

末日聖徒
イエス・キリスト
教会

自立支援サービス
永代教育基金

